

2025 年 10 月 31 日

株式会社ベネッセコーポレーション

代表取締役会長兼社長 岩瀬 大輔

「探究」「進路」「教科」3 領域のサービスと学習データを連携したベネッセの新サービス

領域横断型デジタルサービス『グロースナビ』 2026 年 4 月より全国の高等学校向けに提供開始

生徒の日々の学習行動の結果とプロセスをデジタルでつなげて可視化
学ぶ意欲を引き出す個別指導と、教員の負荷抑制を同時に実現

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山市、代表取締役会長兼社長：岩瀬大輔、以下：ベネッセ）は、高等学校向けの領域横断型デジタルサービス『グロースナビ』を 2026 年 4 月より全国で提供開始します。

今回スタートする『グロースナビ』は、ベネッセの「探究」「進路」「教科」に関する各種教材・サービスがご活用いただける、生徒・教員向けオールインワン・プラットフォームです。

ベネッセが 1955 年の創業以来、学校や家庭向けに創出してきた代表的な商品・サービスに加え、今回のために新たに開発した CBT テスト（PC、タブレット端末で実施するテスト）や AI による教員サポート機能などを搭載しています。加えて、それらのコンテンツがプラットフォーム内で相互に連携する設計となっており、従来は結びつきにくかった「探究」「進路」「教科」の 3 領域を連携させながら生徒の取り組み状況を可視化・蓄積し、個別最適な学びのコンテンツを活用した指導を行うことが可能です。

ベネッセは、本サービスの提供により、生徒が学びを「じぶんごと化」し、将来を見据えた学びへの意欲を醸成できるような学習環境を提供するとともに、教員が指導の負荷を抑制しつつ的確な声かけができるよう、高等学校をご支援してまいります。



■『グロースナビ』企画の背景

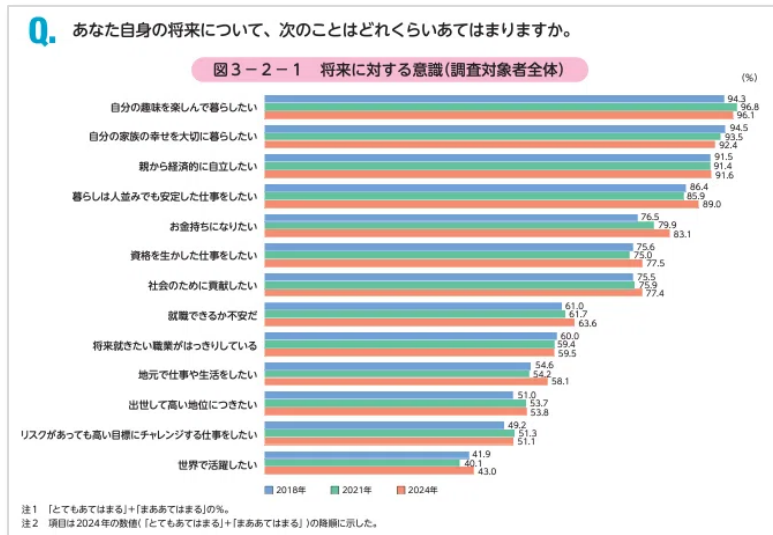
生徒の学習や進路に対する価値観が多様化し、「自己実現」「社会貢献」などさまざまなものに広がり^{※1}を見せ、生徒自身が将来に求めるものが移り変わってきています。高等学校においては、生徒たちが主体的に学びに向かうためのモチベーションの醸成のために、教員による、より個別最適なアプローチや、成功体験をともなう伴走などが必要となっています。

一方で、高等学校でもさらなる働き方改革が求められています。文部科学省は 2025 年 9 月、教員の働き方改革を促す新指針^{※2}を公示し、学校業務を「学校以外が担うべきもの」「教員以外が積極参画すべきもの」「教員が担うが負担軽減が必要なもの」に区分しました。また「時間外在校等時間を月 45 時間以下にする教職員を 100%とする」との数値目標も掲げられています。

こうしたなかでベネッセでは、持続可能な学校の ICT の環境づくり・利用促進を構築することに対する学校現場の関心が高まっていくと考え、高等学校の教員の業務分析を行ったところ、デジタルを活用することで負荷を削減できる業務が多くあることがわかりました。そして、これらの業務については DX 化は進行しているものの、ICT 教材がさまざまあることで、活用サービスや

データ連携、教員間のノウハウもバラバラになっていることから、今後学校現場では統合的なサービスの活用で現状を改善し、持続可能な指導環境を構築することへの関心が高まると考えたため、今回の AI を始めとしたデジタルを活用した領域横断型学校向けサービス『グロースナビ』の開発に至りました。

※1) 図 1：東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所による共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクトの「高校生活と進路に関する調査」： <https://benesse.jp/berd/shotouchutou/research/pdf/241220-1.pdf>



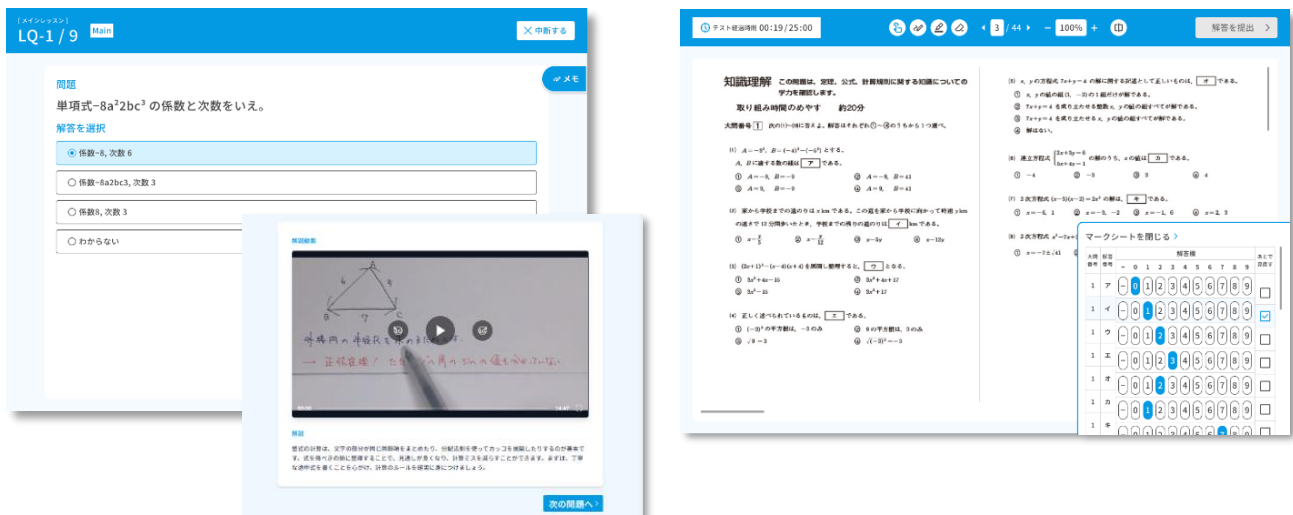
※2) 公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係政令の整備に関する政令の制定等について (通知) [2025 年 9 月 26 日：文部科学省]： https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/mext_00026.html

■『グロースナビ』サービス内容概要について

『グロースナビ』は、生徒が取り組む「探究」「進路」「教科（教科学習とテスト）」の3領域の教材・サービスに加えて、教員向けの「生徒の見取り」機能で構成されています。

▶ 生徒向けコンテンツ概要

生徒に対しては、個々が主体的に学ぶことを支援するデジタル教材等のパッケージを提供します。個人の関心に応じた「探究」プログラムで生徒の興味関心を引き出し、「進研模試」をはじめとしたアセスメント・教材・進路情報による目標設定を支援します。そしてその目標に応じた学習のため、通信講座「進研ゼミ」素材を活用した自学自習用教科学習コンテンツや、CBT 形式のテストなど、個別最適化した教材を提供します。



<教科の学習講義動画 / CBT テスト画面>

▶教員向けコンテンツ概要

また、教員に対しては、生徒のより深い「見取り」と、生徒への最適な声かけを活かした対話を可能にする環境づくりをサポートします。生徒たちの学習データを蓄積した先生用画面で一人の生徒の学びのプロセスと結果を統合的に見取くことを可能にするほか、指導準備の事務的な負担を減らすことを狙った AI を活用したサポート機能として、学内外の活動・進路探究などの振り返りを蓄積できる「ポートフォリオ機能」や、記載されたポートフォリオ等の結果から指導要録の総合所見欄を自動生成する「要録自動生成機能」も提供していきます。



<ポートフォリオ～要録生成（先生画面）>

■『グロースナビ』概要

サービス名称	グロースナビ	
対象	全国の高等学校（本商品は高等学校向けの商品で一般への販売はしていません）	
提供開始	2026 年 4 月	
提供形態	クラウド型 Web サービス（シングルサインオン対応）	
サービス構成	探究	●基礎力育成ワーク ・ニュースピックアップ、系統別テーマ学習、語彙・読解力ドリル ●探究の課題設定支援 ・探究相談チャット、探究フィードバック ●授業パッケージ ・各授業をパッケージ化し、教員向けのナビゲーションも提供
	進路	●おすすめ学校レコメンド ・興味・関心に基づく進路先を知り、志望校の選択肢を広げる機能 ●一般入試対策 ・志望校バック ●年内入試対策 ・小論文・志望理由書の書き方、小論文・志望理由書添削課題、面接 1on1 トレーニング、志望理由壁打ちルーム ●就職試験対策 ・適性・国語・数学などのドリル
	教科	[教科学習] ●教科学習コンテンツ（進研ゼミのコンテンツを利用） ・パーソナライズドラーニング（講義動画→演習→不正解問題の類題） ・小学校～高校範囲の学習動画・問題を搭載 ●定期テストパック ・学校で使っている教科書を元にした範囲設定が可能

		●基礎力育成ワーク ・教科の土台となる語彙や読解力のワーク [テスト] ●到達度型テスト ・新たに開発した CBT 形式の教科テスト、出題は国語・数学・英語に対応 ●実用スキル診断 ・就職・専門学校希望者の多い学校向けの CBT 形式実用スキルテスト
	生徒の見取り支援	・先生用「生徒カルテ」に、グロースナビテスト結果・学習履歴・指導メモを一元管理 ・AI を活用した「ポートフォリオ機能」「要録自動生成機能（2026 年度中に実装予定）」 ・授業パッケージ・三者面談資料への情報出力
高等学校からのお問い合わせ先	「Benesse High School Online」（ベネッセの高等学校教員専用サイト）にて受付	

※本プレスリリース中のサービス内容及び画面イメージは、企画中のものであり、名称・内容・リリース時期などは変更の可能性があります。